

1 今年度の研究について

◎研究教科：国語科 「読むこと」

昨年度と同様に進めていきたい。一人一授業をしたい。（講師 先生）
学力状況調査でも、総合学力調査でも、読み取る力が弱いのがわかる。読書に親しんでいない児童も多い。国語以外でも算数の問題理解、社会などの資料活用などでも、読み取ることをあきらめてしまったり、正しく読み取れていなかったりする実態がある。説明文でも、物語文でも読み取り方を身に付けられるような授業展開を実践していきたい。

※詳しい研究内容については、研修の時間に提案

○ 昨年度の成果と課題（国語科、特別支援 一人一授業）

① 国語科について

【成果】

- ・フレームリーディングの授業の組み立て（最初に文章の姿を捉え、詳細を読んでいく）が研修を重ねるごとにわかってきた。
- ・児童の国語科に対する意識が向上し、言葉にこだわって考えたり、話し合ったりすることを楽しむ児童が増えた。
- ・読書活動推進スタッフと連携し、単元に関係した本の読み聞かせや、並行読書をする本の準備、学習で作った作品の掲示などを全学年で積極的に行い、児童の読書に対する関心が高まった。

【課題】

- ・話を聞き、主題に迫っていける中心課題や思考を促す発問を設定するには、教師の教材研究が重要である。
- ・並行読書をする本を準備してもなかなか本を手にとらない。動画から情報を得ることばかりの日常で、「文章を読む」という経験が非常に少ないことが、「自分で文章を読み取れない」ということにつながっている。選書をして指定読書をするようにしたり、読書カードなどの工夫をしたりし、読書をすることに慣れさせていく必要がある。

② 特別支援について

【成果】

- ・みんなの様々な考えを出し合い、話し合って行えた。
- ・特別な支援が必要な児童への支援の仕方や、教科への結び付けの大切さがわかった。通常学級でも、それぞれの個性に合わせた授業を展開しなければいけないと感じた。

③ 一人一授業について

【成果】

- ・一年に一度は、時間を掛けて全力で授業をしたいのでやってよかった。

1 研究主題

自分の考えをもち、進んで伝え合う児童の育成

2 主題設定の理由

国語科は、すべての教科の基礎になる、いずれの教科においても、読む力の向上が求められる。国語力の育成を直接担うのは国語科の役割である。そのため、国語科で国語力の基礎を確実に身に付けさせて、他教科でも応用できるようにすることが大切であると考え。言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成できるような授業改善を行ってきたい。

どの学級にも個別の支援を必要とする児童がいる。上位の児童も、理解に時間がかかる児童も、ともに「主体的」に学ぶことができるよう指導や支援をしていくことは必要不可欠である。与えられた課題に取り組むだけでは、新学習指導要領で提唱されている「主体的」な学びとは言えない。主体的に課題をとらえ自分の考えをもつことで、課題解決に向けての方法を精選し、学習内容を理解したり自分の考えを表現したりする児童を育みたい。

＜めざす児童像＞

- ①フレームリーディングの3ステップで指導計画を立てる。(文章の姿の捉え方)
- ②つけたい力に合わせた言語活動を設定する。
- ③読書活動推進スタッフと連携した、効果的な読書活動を計画する。

①について

文章がどのような**構造**になっているか、どのような**内容**が書かれているかを把握する。

文章の内容や形式に着目して読み、目的に応じて必要な情報を見つけることや、書かれていること、あるいは書かれていないことについても、具体的に想像する。

文章を読んで理解したことなどに基づいて、自分の考えを形成する。理解したことに基づいて、自分の既有的知識や様々な体験と結びつけて感想をもったり考えをまとめたりしていく。

- ## 5 研究の方法について

- ①教頭、
②校長、

- ## 6 日程について

月	研修日	研 修 内 容	備考
4	1日(水)	モラールアップ研修①	23日(木) 授業参観、保護者会
	2日(木)	モラールアップ研修② 週新案作成の研修	
	16日(木)	研修日 (アレルギー対応、アクションカード研修、学力向上のための共通理解事項)	
	24日(金)	研修日(授業改善について)	
5	7日	研修日(研究内容、指導案の形式確認、授業者&単元決定)	20日(水) 三部会陸上大会 28日(木) 1、2年校外学習

	14日(木)	研修日(第1回国語科授業研修会の単元構想確認) 講師 先生	
	21日(木)?	研修日(ICT) ICT支援員の勤務日に合わせる。	
6	1日(月)	学校支援アドバイザー 先生来校	9、10日(火水) 自然教室 24日(水) 5、6年校外学習
	4日(木)	プール前心肺蘇生法研修会 講師 白井消防署	
	11日(木)	研修日(国語科指導案検討1回目)	
	18日(木)	研修日(国語科指導案検討2回目)	
7	2日(木)	第1回国語科授業研修会(、) 講師 先生	10日 指導室訪問 16、17、18日個別面談 18日 夏休みを迎える会 日 出勤日
	10日(金)	研修日(第2回国語科授業研修会の単元構想確認)	
	17日(水)	モラールアップ研修③	
	日()	アレルギー対応研修	
9	1日(火)	モラールアップ研修④	1日(火) 夏休み明けの会
	3日(木)	研修日(第2回校内研の指導案検討1回目)	30日(水) 前期終業式 * 先生来校
	17日(木)	研修日(第2回校内研の指導案検討2回目)	
10	2(木)	研修日(内容未定)	10日(土) 運動会 20日(火) 3、4年校外学習 28、29日(水木) 修学旅行
	16日(金)	研修日(第3回国語科授業研修会の単元構想)	
	22日(木)	第2回国語科授業研修会(、)講師 先生	
11	5日(木)	研修日(第3回の指導案検討1回目)	4日 白井市音楽発表会 11日(水) 音楽集会
	12日(木)	研修日(第3回の指導案検討2回目)	
12	1日(火)	第3回国語科授業研修会(、)講師 先生	3日(木) 授業参観 16、17日(水木) 希望個別面談
	10日(木)	研修日(国語科について、成果と課題)	23日(水) 冬休みを迎える会

	18日 (金)	モラールアップ研修⑤	
	23日 (水)	研修日（特別支援学級指導案検討1回目）	
1	14日 (木)	研修日（特別支援学級指導案検討2回目）	7日（金）新年を迎える会 22日（金）ザ・白二祭
	25日 (木)	特別支援学級授業研修会（ 、 ）	
2	4日 (木)	研修日（今年度の成果と課題 来年度へ向けて）	24日（水）6年生を送る会 保護者会
	18日 (木)	研究推進委員会（来年度の研究・研修の方向性）	
3	11日 (木)	モラールアップ研修⑥	18日（木）卒業式 24日（水）修了式・離任式

2 今年度の研修について

【行う研修】

- ・学力向上のための共通理解事項（4／25）
- ・ICTの実践研修（AIの使い方など 担当が計画）
- ・心肺蘇生法研修（6／4）
- ・相互参観（月1回ずつ）

＜相互参観について＞

○自分の授業改善 ～学級作りも授業から～

- ・学級の実態を把握して、
学習に臨む姿勢や基本的なルール、基礎的な力を付ける工夫、主体的な学びができる工夫、その教科で具体的に
力を入れていくことなど、視点を持って授業をしていくようにする。

○他の先生の授業を見て学ぶ。

- ・話し方や立ち方、板書、机間指導だけとって、自分との違いを感じると思う。自分を見直す機会にする。

＜方法＞

☆毎月、相互参観をする。普段通りの授業を行う。（複数教科の場合もあるだろうし、1年間同じ教科について
力を入れていく場合もある。）

①月の最初の週案に、その月に力を入れること（視点）を書く。

例 振り返りを必ず書く。子ども同士で教え合い、全員が解決できるようにする。

自分の言葉でまとめを書く。発表の時には、「はい」と返事をして大きな声で話す。教師の発問を3つに
する。学習問題を必ず書く。教師の話す時間を少なくする。板書を工夫する。

②月のどこかで、授業公開する日時を決めて貼り出す。「日時」「教科」「視点」を書く。

③貼りだされている物を見て、少しの時間でも見に行けるように計画をする。

④参観したら、必ず、放課後に、「感想」や「質問」をする。（視点については必ず）

⑤月の最後の週案に、視点についての成果と課題を書く。